

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第15期(決算日2018年11月19日)

作成対象期間(2017年11月21日～2018年11月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2003年11月19日から2023年11月20日までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期(2014年11月18日)	24,550	850	26.9	376.66	36.0	97.5	—	2,925
12期(2015年11月18日)	26,844	1,000	13.4	426.40	13.2	91.1	—	2,792
13期(2016年11月18日)	21,329	1,000	△16.8	369.06	△13.4	100.5	—	9,401
14期(2017年11月20日)	22,010	1,100	8.4	391.63	6.1	95.7	—	59,514
15期(2018年11月19日)	20,171	900	△4.3	387.78	△1.0	95.8	—	57,653

*基準価額は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
(出所)ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	騰落率		
(期首) 2017年11月20日	円	%		%	%	%
11月末	22,010	—	391.63	—	95.7	—
12月末	21,953	△0.3	391.44	△0.0	95.6	—
2018年1月末	23,114	5.0	406.56	3.8	95.0	—
2月末	24,640	11.9	437.87	11.8	96.3	—
3月末	23,474	6.7	413.65	5.6	96.8	—
4月末	22,637	2.8	400.08	2.2	96.6	—
5月末	22,132	0.6	394.31	0.7	97.5	—
6月末	22,671	3.0	405.21	3.5	96.1	—
7月末	22,477	2.1	402.82	2.9	97.6	—
8月末	23,420	6.4	425.13	8.6	97.7	—
9月末	24,570	11.6	453.44	15.8	97.5	—
10月末	24,264	10.2	451.31	15.2	97.6	—
11月末	20,750	△5.7	383.18	△2.2	97.6	—
(期末) 2018年11月19日	21,071	△4.3	387.78	△1.0	95.8	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			参考指数 ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	税 分	込 配	み 金	期 騰	中 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期(2014年11月18日)	29,498	1,030	45.7	492.84	58.5	96.0	—	7,444
12期(2015年11月18日)	33,447	1,500	18.5	593.89	20.5	92.7	—	11,791
13期(2016年11月18日)	23,881	1,000	△25.6	464.65	△21.8	100.8	—	12,791
14期(2017年11月20日)	25,377	1,300	11.7	511.23	10.0	95.7	—	54,555
15期(2018年11月19日)	23,684	1,200	△1.9	520.94	1.9	96.3	—	59,150

*基準価額は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数 (=ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)) は、ナスダック・バイオテック指数 (US\$ ベース) を当社が独自に円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数 ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)		株組入比率	株先物比率
	騰	落	騰	落		
	円	%		%	%	%
(期首) 2017年11月20日	25,377	—	511.23	—	95.7	—
11月末	25,292	△0.3	510.55	△0.1	95.6	—
12月末	26,885	5.9	535.63	4.8	94.9	—
2018年1月末	27,704	9.2	556.57	8.9	96.2	—
2月末	26,084	2.8	519.74	1.7	96.8	—
3月末	24,938	△1.7	498.41	△2.5	96.6	—
4月末	25,102	△1.1	506.46	△0.9	97.5	—
5月末	25,598	0.9	518.46	1.4	96.1	—
6月末	25,832	1.8	525.19	2.7	97.6	—
7月末	27,092	6.8	557.89	9.1	97.7	—
8月末	28,479	12.2	596.55	16.7	97.5	—
9月末	28,777	13.4	608.32	19.0	97.7	—
10月末	24,562	△3.2	516.48	1.0	97.6	—
(期末) 2018年11月19日	24,884	△1.9	520.94	1.9	96.3	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：22,010円

期末：20,171円 (既払分配金(税込み)：900円)

騰落率：△ 4.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2017年11月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首22,010円から期末20,171円となりました。

- (上昇) 研究開発中の新薬について良好な進捗状況を発表する企業が相次いだこと、欧州当局による新薬承認のニュースやM&A(企業の合併・買収)の発表が相次いだこと
- (下落) トランプ米大統領が一般教書演説の中で薬価引き下げに言及したこと、米金利上昇を嫌気した市場全体の下落に連れ安したこと、米中貿易摩擦への懸念が強まったこと
- (上昇) トランプ米大統領による薬価引き下げ演説が具体策に欠けていたこと、米欧間の通商摩擦問題に対する懸念が後退したこと、複数のバイオ関連企業が開発中の新薬について良好な治験経過報告を行ったこと

<Aコース>

(下落) 米国の10年債利回りが3.2%台まで上昇し株式市場全体が下落したこと、7-9月期の企業決算発表において今後の見通しに慎重な見方を示す企業が相次いだこと

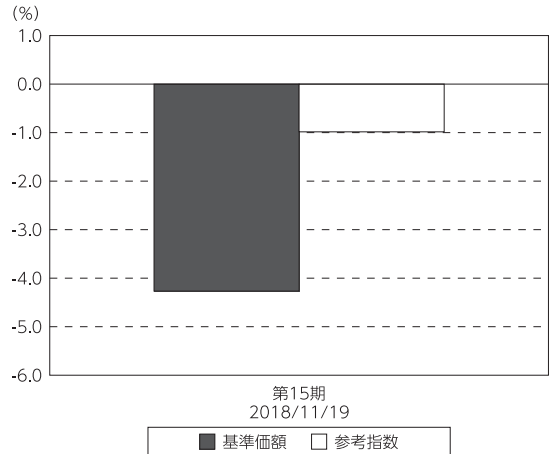
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)の1.0%の下落に対し、基準価額は4.3%の下落となりました。主なマイナスの差異要因としては、心臓病治療薬の開発などを手がける米国のバイオ医薬品企業や、心臓血管疾患治療薬などの開発を行う英国の医薬品会社などを非保有としていたことや、卵巣がんの治療薬の販売状況が疑問視された米国のバイオ医薬品会社などをオーバーウェイト(参考指数と比べ高めの投資比率)としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり900円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第15期
	2017年11月21日～ 2018年11月19日
当期分配金	900
(対基準価額比率)	4.271%
当期の収益	—
当期の収益以外	900
翌期繰越分配対象額	12,123

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：25,377円

期 末：23,684円 (既払分配金(税込み)：1,200円)

騰落率：△ 1.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2017年11月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首25,377円から期末23,684円となりました。

- (上昇) 研究開発中の新薬について良好な進捗状況を発表する企業が相次いだこと、欧州当局による新薬承認のニュースやM&A(企業の合併・買収)の発表が相次いだこと
- (下落) トランプ米大統領が一般教書演説の中で薬価引き下げに言及したこと、米金利上昇を嫌気した市場全体の下落に連れ安したこと、米中貿易摩擦への懸念が強まったこと、為替市場で円高・ドル安が進んだこと
- (上昇) トランプ米大統領による薬価引き下げ演説が具体策に欠けていたこと、米欧間の通商摩擦問題に対する懸念が後退したこと、複数のバイオ関連企業が開発中の新薬について良好な治験経過報告を行ったこと、為替市場で円安・ドル高が進んだこと

<Bコース>

(下落) 米国の10年債利回りが3.2%台まで上昇し株式市場全体が下落したこと、7－9月期の企業決算発表において今後の見通しに慎重な見方を示す企業が相次いだこと

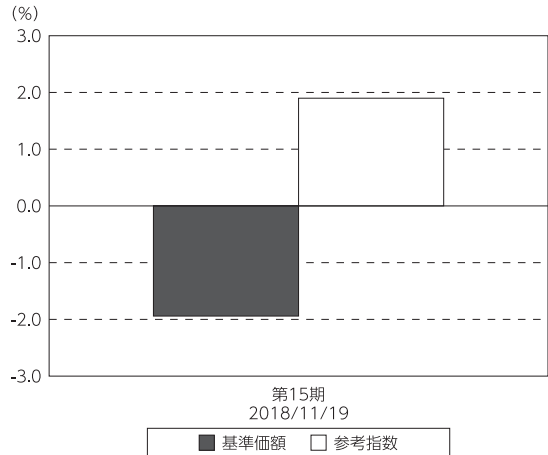
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の1.9%の上昇に対し、基準価額は1.9%の下落となりました。主なマイナスの差異要因としては、心臓病治療薬の開発などを手がける米国のバイオ医薬品企業や、心臓血管疾患治療薬などの開発を行う英国の医薬品会社などを非保有としていたことや、卵巣がんの治療薬の販売状況が疑問視された米国のバイオ医薬品会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,200円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第15期
	2017年11月21日～ 2018年11月19日
当期分配金	1,200
(対基準価額比率)	4.822%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,200
翌期繰越分配対象額	13,684

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国の金利上昇を受けたFRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めペースを巡る不透明感や米中貿易摩擦問題への懸念などを背景に、上下に振れる展開となりました。期末にかけては、米国中間選挙後のトランプ米大統領の政策懸念や、米中貿易摩擦問題の長期化懸念などから下げ足を強め、前期末比でマイナスとなりました。

為替市場では、期前半は米中貿易摩擦問題などへの懸念からリスク回避の動きが強まり、ドル円レートは一時104円台まで円高が進みました。しかし、その後は米国金利の上昇などからドル高の動きが強まり、期末時点では前期末と比べ小幅の円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] および [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

現在、医薬品に関連する医療費の議論につきましては、重要な転換が起こっているとみています。近年、幾つかの国では価値に応じた医療費の還付の制度が利用されており、処方薬で最大のマーケットである米国においても、同様の制度を求める声は益々大きくなっています。こうしたなか、医薬品企業と同様に、政府、規制当局、保険業者は医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理できるよう妥協案を探っております。また、最も重要な利害関係者である患者側も、高額な医療費支払いに伴う破産リスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えている状況です。このように、現在の医薬・バイオ業界を取り巻く環境は、科学的側面だけでなく、ビジネス・モデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった点においても、イノベーションを起こす機会に恵まれていると考えております。

・運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 471	% 2.046	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(248)	(1.077)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(198)	(0.862)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(25)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.024)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.020	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	482	2.091	
期中の平均基準価額は、23,008円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2017年11月21日～2018年11月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	12,093,983	58,644,233	12,496,777	61,252,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2017年11月21日～2018年11月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	152,358,204千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	136,432,248千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.11	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月21日～2018年11月19日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
為替先物取引	百万円 418,953	百万円 5,351	1.3	百万円 415,030	百万円 2,609	0.6

<Aコース>

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 37,140	百万円 3,256	8.8	百万円 35,562	百万円 1,354	3.8

平均保有割合 50.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年11月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 12,767,569	千口 12,364,775	千円 57,372,557

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 57,372,557	% 93.5
コール・ローン等、その他	3,979,764	6.5
投資信託財産総額	61,352,321	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（113,667,929千円）の投資信託財産総額（116,874,720千円）に対する比率は97.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.73円、1デンマーククローネ=17.24円、1ユーロ=128.61円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	117,287,320,339
コール・ローン等	3,896,803,068
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	57,372,557,624
未収入金	56,017,959,647
(B) 負債	59,633,530,891
未払金	56,315,585,753
未払収益分配金	2,572,438,191
未払解約金	19,960,253
未払信託報酬	724,395,207
未払利息	7,774
その他未払費用	1,143,713
(C) 純資産総額(A-B)	57,653,789,448
元本	28,582,646,573
次期繰越損益金	29,071,142,875
(D) 受益権総口数	28,582,646,573口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,171円

(注) 期首元本額は27,039,921,788円、期中追加設定元本額は12,378,318,865円、期中一部解約元本額は10,835,594,080円、1口当たり純資産額は2,0171円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,096,653,459円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 844,237
支払利息	△ 844,237
(B) 有価証券売買損益	△ 2,141,914,578
売買益	7,223,975,498
売買損	△ 9,365,890,076
(C) 信託報酬等	△ 1,448,377,049
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 3,591,135,864
(E) 前期繰越損益金	△ 1,035,702,966
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	36,270,419,896
(売買損益相当額)	(37,082,714,566)
(G) 計(D+E+F)	(△ 812,294,670)
(H) 収益分配金	31,643,581,066
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,572,438,191
追加信託差損益金 (配当等相当額)	29,071,142,875
(売買損益相当額)	33,697,981,705
分配準備積立金	(34,519,751,910)
繰越損益金	(△ 821,770,205)
	131,728,597
	△ 4,758,567,427

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年11月21日～2018年11月19日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年11月21日～ 2018年11月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	37,092,190,101円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	131,728,597円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	37,223,918,698円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	13,023円
g. 分配金	2,572,438,191円
h. 分配金(1万口当たり)	900円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	900円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

- ①信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2018年2月9日>
- ②信託金限度額を、3,000億円から6,000億円に変更する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2018年2月9日>
- ③ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドの内外の株式等の運用の権限委託先にピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ (Pictet Asset Management S.A.) を追加する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2018年2月9日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 539	% 2.046	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(284)	(1.077)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(227)	(0.862)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(28)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.024)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.020	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	550	2.091	
期中の平均基準価額は、26,362円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2017年11月21日～2018年11月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 8,298,097	千円 40,489,207	千口 7,252,384	千円 35,943,050

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2017年11月21日～2018年11月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	152,358,204千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	136,432,248千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.11	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月21日～2018年11月19日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	百万円 37,140	百万円 3,256	% 8.8	百万円 35,562	百万円 1,354	% 3.8

平均保有割合 49.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2018年11月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	11,702,314	12,748,027	59,150,847

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	59,150,847	93.9
コール・ローン等、その他	3,822,311	6.1
投資信託財産総額	62,973,158	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（113,667,929千円）の投資信託財産総額（116,874,720千円）に対する比率は97.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.73円、1デンマーククローネ=17.24円、1ユーロ=128.61円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	62,973,158,394
コール・ローン等	3,757,310,985
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	59,150,847,409
未収入金	65,000,000
(B) 負債	3,822,545,607
未払収益分配金	2,996,964,881
未払解約金	87,139,130
未払信託報酬	737,270,059
未払利息	7,496
その他未払費用	1,164,041
(C) 純資産総額(A-B)	59,150,612,787
元本	24,974,707,346
次期繰越損益金	34,175,905,441
(D) 受益権総口数	24,974,707,346口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,684円

(注) 期首元本額は21,498,268,657円、期中追加設定元本額は12,985,856,389円、期中一部解約元本額は9,509,417,700円、1口当たり純資産額は2,3684円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,096,653,459円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 377,646
支払利息	△ 377,646
(B) 有価証券売買損益	△ 868,273,103
売買益	1,987,701,492
売買損	△ 2,855,974,595
(C) 信託報酬等	△ 1,440,835,714
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 2,309,486,463
(E) 前期繰越損益金	△ 973,626,725
(F) 追加信託差損益金	40,455,983,510
(配当等相当額)	(30,167,229,769)
(売買損益相当額)	(10,288,753,741)
(G) 計(D+E+F)	37,172,870,322
(H) 収益分配金	△ 2,996,964,881
次期繰越損益金(G+H)	34,175,905,441
追加信託差損益金	37,459,018,629
(配当等相当額)	(27,180,383,597)
(売買損益相当額)	(10,278,635,032)
分配準備積立金	108,174,447
繰越損益金	△ 3,391,287,635

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年11月21日～2018年11月19日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年11月21日～ 2018年11月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	37,064,695,875円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	108,174,447円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	37,172,870,322円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	14,884円
g. 分配金	2,996,964,881円
h. 分配金(1万口当たり)	1,200円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,200円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

- ①信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2018年2月9日>
- ②信託金限度額を、3,000億円から6,000億円に変更する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2018年2月9日>
- ③ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドの内外の株式等の運用の権限委託先にピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ (Pictet Asset Management S.A.) を追加する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2018年2月9日>

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第15期（決算日2018年11月19日）

作成対象期間（2017年11月21日～2018年11月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落			
	円	%		%	%	%	百万円
11期(2014年11月18日)	44,430	48.7	492.84	58.5	95.7	—	10,448
12期(2015年11月18日)	53,654	20.8	593.89	20.5	91.9	—	14,665
13期(2016年11月18日)	40,660	△24.2	464.65	△21.8	100.0	—	22,356
14期(2017年11月20日)	46,409	14.1	511.23	10.0	96.2	—	113,562
15期(2018年11月19日)	46,400	△0.0	520.94	1.9	96.3	—	116,523

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

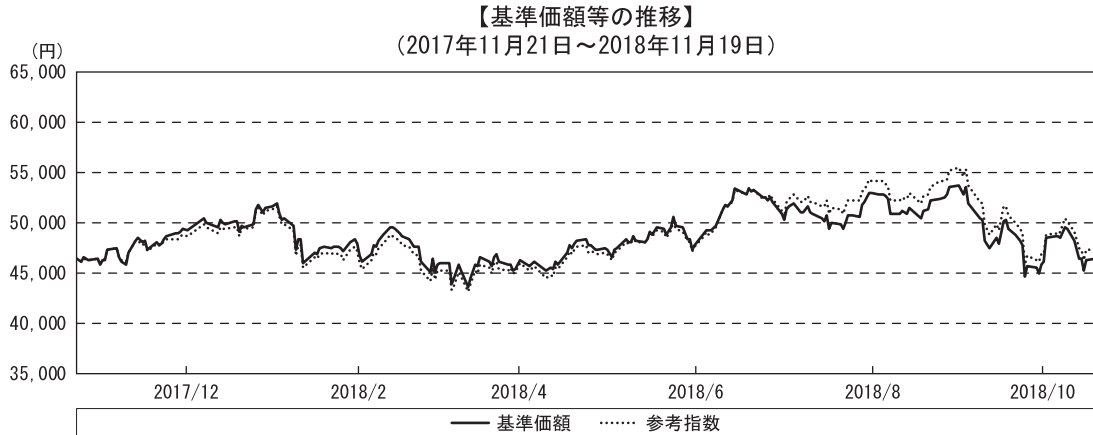
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落		
(期首)	円	%		%	%	%
2017年11月20日	46,409	—	511.23	—	96.2	—
11月末	46,270	△0.3	510.55	△0.1	96.1	—
12月末	49,288	6.2	535.63	4.8	95.3	—
2018年1月末	50,881	9.6	556.57	8.9	97.3	—
2月末	47,963	3.3	519.74	1.7	97.2	—
3月末	45,915	△1.1	498.41	△2.5	96.8	—
4月末	46,298	△0.2	506.46	△0.9	97.9	—
5月末	47,306	1.9	518.46	1.4	96.6	—
6月末	47,814	3.0	525.19	2.7	97.6	—
7月末	50,232	8.2	557.89	9.1	97.9	—
8月末	52,900	14.0	596.55	16.7	97.6	—
9月末	53,537	15.4	608.32	19.0	97.8	—
10月末	45,754	△1.4	516.48	1.0	97.7	—
(期末)						
2018年11月19日	46,400	△0.0	520.94	1.9	96.3	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首46,409円から期末46,400円となりました。

- (上昇) 研究開発中の新薬について良好な進捗状況を発表する企業が相次いだこと、欧州当局による新薬承認のニュースやM&A（企業の合併・買収）の発表が相次いだこと
- (下落) トランプ米大統領が一般教書演説の中で薬価引き下げに言及したこと、米金利上昇を嫌気した市場全体の下落に連れ安したこと、米中貿易摩擦への懸念が強まったこと、為替市場で円高・ドル安が進んだこと
- (上昇) トランプ米大統領による薬価引き下げ演説が具体策に欠けていたこと、米欧間の通商摩擦問題に対する懸念が後退したこと、複数のバイオ関連企業が開発中の新薬について良好な治験経過報告を行ったこと、為替市場で円安・ドル高が進んだこと
- (下落) 米国の10年債利回りが3.2%台まで上昇し株式市場全体が下落したこと、7～9月期の企業決算発表において今後の見通しに慎重な見方を示す企業が相次いだこと

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国の金利上昇を受けたFRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めペースを巡る不透明感や米中貿易摩擦問題への懸念などを背景に、上下に振れる展開となりました。期末にかけては、米国中間選挙後のトランプ米大統領の政策懸念や、米中貿易摩擦問題の長期化懸念などから下げ足を強め、前期末比でマイナスとなりました。

為替市場では、期前半は米中貿易摩擦問題などへの懸念からリスク回避の動きが強まり、ドル円レートは一時104円台まで円高が進みました。しかし、その後は米国金利の上昇などからドル高の動きが強まり、期末時点では前期末と比べ小幅の円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

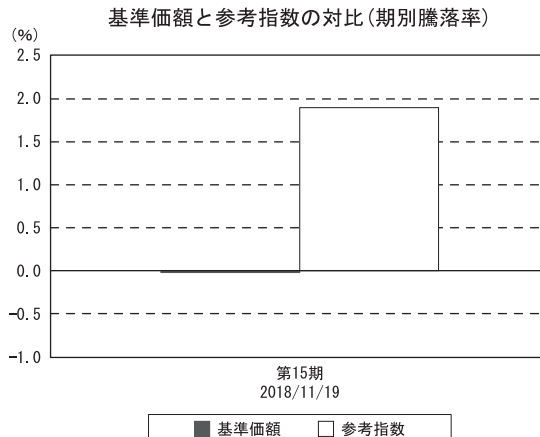
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の1.9%の上昇に対し、基準価額はほぼ横這いとなりました。主なマイナスの差異要因としては、心臓病治療薬の開発などを手がける米国のバイオ医薬品企業や、心臓血管疾患治療薬などの開発を行う英国の医薬品会社などを非保有としていたことや、卵巣がんの治療薬の販売状況が疑問視された米国のバイオ医薬品会社などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどがあげられます。



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

○投資環境

現在、医薬品に関連する医療費の議論につきましては、重要な転換が起こっているとみています。近年、幾つかの国では価値に応じた医療費の還付の制度が利用されており、処方薬で最大のマーケットである米国においても、同様の制度を求める声は益々大きくなっています。こうしたなか、医薬品企業と同様に、政府、規制当局、保険業者は医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理できるよう妥協案を探っております。また、最も重要な利害関係者である患者側も、高額な医療費支払いに伴う破産リスクにさらされることなく、高品質の治療を受けたいと考えている状況です。このように、現在の医薬・バイオ業界を取り巻く環境は、科学的側面だけでなく、ビジネス・モデルや先進的な思考、価値に基づいた契約といった点においても、イノベーションを起こす機会に恵まれていると考えております。

○運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 12 (12)	% 0.024 (0.024)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (8) (0)	0.017 (0.017) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	20	0.042	
期中の平均基準価額は、48,679円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月21日～2018年11月19日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 159,208 (159)	千米ドル 681,055 (187)	百株 149,595	千米ドル 671,087
	デンマーク	447	千デンマーククローネ 49,534	123	千デンマーククローネ 12,976
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	1,429	3,556	97	226
	オランダ	—	—	326	1,089
	ベルギー	713	6,043	348	3,294

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年11月21日～2018年11月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	152,358,204千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	136,432,248千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.11

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月21日～2018年11月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 37,140	百万円 3,256	% 8.8	百万円 35,562	百万円 1,354	% 3.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年11月19日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
			千米ドル	千円	
(アメリカ)	百株	百株			
ABLYNX NV SPONSORED ADR	2,450	—	—	—	バイオテクノロジー
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	4,564	—	—	—	バイオテクノロジー
ACCELERON PHARMA INC	1,815	1,269	6,628	747,208	バイオテクノロジー
AERIE PHARMACEUTICALS INC	983	2,297	9,850	1,110,441	医薬品
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	951	1,497	10,431	1,175,913	バイオテクノロジー
ALDER BIOPHARMACEUTICALS INC	6,636	—	—	—	バイオテクノロジー
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	3,618	4,982	59,107	6,663,243	バイオテクノロジー
ALLOGENE THERAPEUTICS INC	—	1,396	3,906	440,434	バイオテクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	1,042	2,987	21,853	2,463,501	バイオテクノロジー
AMGEN INC	3,433	2,324	45,127	5,087,215	バイオテクノロジー
AMICUS THERAPEUTICS INC	—	12,458	13,392	1,509,758	バイオテクノロジー
ARENA PHARMACEUTICALS INC	2,491	2,587	10,784	1,215,787	バイオテクノロジー
ARGENX SE-ADR	2,245	1,616	15,074	1,699,332	バイオテクノロジー
ARRAY BIOPHARMA INC	—	13,384	21,923	2,471,397	バイオテクノロジー
AUDENTES THERAPEUTICS INC	—	1,347	3,169	357,347	バイオテクノロジー
AVEXIS INC	756	—	—	—	バイオテクノロジー
AVROBIO INC	—	750	2,017	227,400	バイオテクノロジー
BEIGENE, LTD ADR	—	1,054	13,395	1,510,106	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	3,798	4,419	42,291	4,767,494	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	1,962	1,740	56,393	6,357,197	バイオテクノロジー
BLUEBIRD BIO INC	534	626	7,847	884,624	バイオテクノロジー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	1,968	2,903	16,042	1,808,483	バイオテクノロジー
CELGENE CORP	6,983	6,536	45,523	5,131,905	バイオテクノロジー
CLOVIS ONCOLOGY INC	1,741	—	—	—	バイオテクノロジー
CYTOMX THERAPEUTICS INC	789	2,758	3,988	449,581	バイオテクノロジー
EDITAS MEDICINE INC	—	662	1,917	216,133	バイオテクノロジー
ESPERION THERAPEUTICS INC	1,441	1,738	8,424	949,701	バイオテクノロジー
EXELIXIS INC	7,554	12,847	23,023	2,595,421	バイオテクノロジー
FIVE PRIME THERAPEUTICS INC	1,454	—	—	—	バイオテクノロジー
FLEXION THERAPEUTICS INC	3,155	4,487	7,566	852,996	バイオテクノロジー
GW PHARMACEUTICALS -ADR	1,226	1,863	24,652	2,779,033	医薬品
GILEAD SCIENCES INC	8,785	6,689	46,288	5,218,110	バイオテクノロジー
GLOBAL BLOOD THERAPEUTICS INC	—	2,103	7,638	861,116	バイオテクノロジー
HALOZYME THERAPEUTICS INC	9,159	12,588	20,304	2,288,954	バイオテクノロジー
ILLUMINA INC	1,040	1,607	51,436	5,798,392	ライフサイエンス・ツール/サービス
IMMUNOMEDICINES INC	6,188	4,566	8,872	1,000,238	バイオテクノロジー
INCYTE CORP	3,477	6,621	44,041	4,964,771	バイオテクノロジー
IRONWOOD PHARMACEUTICALS INC	11,281	—	—	—	バイオテクノロジー
JUNO THERAPEUTICS INC	1,724	—	—	—	バイオテクノロジー
LA JOLLA PHARMACEUTICAL CO	1,926	3,229	5,077	572,363	バイオテクノロジー
LOXO ONCOLOGY INC	877	930	14,566	1,642,085	バイオテクノロジー
MEDICINES COMPANY	1,829	—	—	—	医薬品
MIRATI THERAPEUTICS INC	—	1,041	4,263	480,664	バイオテクノロジー
MYOKARDIA INC	1,318	1,574	9,319	1,050,570	医薬品
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	3,410	2,919	26,269	2,961,307	バイオテクノロジー
NOVAVAX INC	—	11,731	2,135	240,697	バイオテクノロジー

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
PRA HEALTH SCIENCES INC	2,133	1,778	17,892	2,016,989		ライフサイエンス・ツール/サービス
PTC THERAPEUTICS INC	—	1,012	3,434	387,182		バイオテクノロジー
PARATEK PHARMACEUTICALS INC	3,082	—	—	—		医薬品
PORTOLA PHARMACEUTICALS INC	2,106	—	—	—		バイオテクノロジー
RADIUS HEALTH INC	2,307	—	—	—		バイオテクノロジー
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,170	1,294	44,710	5,040,222		バイオテクノロジー
SAGE THERAPEUTICS INC	1,568	1,481	16,925	1,907,956		バイオテクノロジー
SANGAMO THERAPEUTICS INC	—	1,919	2,151	242,585		バイオテクノロジー
SAREPTA THERAPEUTICS INC	—	1,178	14,027	1,581,339		バイオテクノロジー
SEATTLE GENETICS INC	4,070	1,379	7,922	893,054		バイオテクノロジー
SHIRE PLC-ADR	832	—	—	—		バイオテクノロジー
SPARK THERAPEUTICS INC	626	—	—	—		バイオテクノロジー
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	2,206	1,064	4,677	527,313		医薬品
SYNERGY PHARMACEUTICALS INC	12,172	—	—	—		バイオテクノロジー
TESARO INC	2,104	—	—	—		バイオテクノロジー
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	914	948	22,857	2,576,677		ライフサイエンス・ツール/サービス
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL IN	2,911	3,362	17,913	2,019,374		バイオテクノロジー
VERTEX PHARMACEUTICALS	3,055	2,963	48,931	5,515,992		バイオテクノロジー
ZOGENIX INC	—	1,800	7,336	827,020		医薬品
ALKERMES PLC	3,690	—	—	—		バイオテクノロジー
BIOHAVEN PHARMACEUTICAL HOLDING CO LTD	—	1,974	6,894	777,197		バイオテクノロジー
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	1,610	1,459	20,846	2,350,043		医薬品
PROTHENA CORP PLC	1,580	—	—	—		バイオテクノロジー
AC IMMUNE SA	4,517	6,174	6,032	680,086		バイオテクノロジー
CRISPR THERAPEUTICS AG	—	517	1,924	216,971		バイオテクノロジー
OBSEVA SA	3,909	4,510	5,822	656,377		医薬品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	171,191 56	180,964 54	964,848 —	108,767,317 <93.3%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
GENMAB A/S	546	869	79,834	1,376,350		バイオテクノロジー
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	546 1	869 1	79,834 —	1,376,350 <1.2%>	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
CELLECTIS SA	—	1,332	2,541	326,861		バイオテクノロジー
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	1,332 1	2,541 —	326,861 <0.3%>	
(ユーロ…オランダ)						
ARGENX SE	326	—	—	—		バイオテクノロジー
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	326 1	— —	— —	— <-%>	
(ユーロ…ベルギー)						
GALAPAGOS NV	1,086	1,451	13,263	1,705,881		バイオテクノロジー
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,086 1	1,451 1	13,263 —	1,705,881 <1.5%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,413 2	2,783 2	15,805 —	2,032,743 <1.7%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	173,151 59	184,617 57	— —	112,176,412 <96.3%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2018年11月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	112,176,412	96.0
コール・ローン等、その他	4,698,308	4.0
投資信託財産総額	116,874,720	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (113,667,929千円) の投資信託財産総額 (116,874,720千円) に対する比率は97.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.73円、1デンマーククローネ=17.24円、1ユーロ=128.61円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年11月19日現在)

○損益の状況 (2017年11月21日～2018年11月19日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	117,889,110,918
コール・ローン等	4,586,343,497
株式(評価額)	112,176,412,098
未収入金	1,095,231,562
未収配当金	31,123,761
(B) 負債	1,365,801,763
未払金	1,300,795,937
未払解約金	65,000,000
未払利息	5,826
(C) 純資産総額(A-B)	116,523,309,155
元本	25,112,802,809
次期繰越損益金	91,410,506,346
(D) 受益権総口数	25,112,802,809口
1万口当たり基準価額(C/D)	46,400円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	422,097,777
受取配当金	407,710,054
受取利息	12,233,594
その他収益金	3,601,301
支払利息	△ 1,447,172
(B) 有価証券売買損益	623,257,145
売買益	23,425,914,590
売買損	△22,802,657,445
(C) 保管費用等	△ 23,401,701
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,021,953,221
(E) 前期繰越損益金	89,093,082,024
(F) 追加信託差損益金	78,741,358,798
(G) 解約差損益金	△77,445,887,697
(H) 計(D+E+F+G)	91,410,506,346
次期繰越損益金(H)	91,410,506,346

(注) 期首元本額は24,469,883,910円、期中追加設定元本額は20,392,081,202円、期中一部解約元本額は19,749,162,303円、1口当たり純資産額は4.6400円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 12,748,027,459円
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 12,364,775,350円

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ①信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2018年2月9日＞

- ②信託金限度額を、3,000億円から6,000億円に変更する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2018年2月9日＞

- ③内外の株式等の運用の権限委託先にピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ
(Pictet Asset Management S.A.)を追加する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2018年2月9日＞